

# gakuto

\*学塔\*



Autumn 2016

No.137



クローズアップ

自著を語る。  
「忍者の歴史」

ここから広げよう

各学部の先生からのオススメ本

From Students

時間外開館担当の職員さんに聞きました!

写真部「6月部展」開催

ブックロウのPick Upコーナー!!!

所蔵資料展示「伊勢志摩」展  
開催報告

オープンライブラリー開催報告

レファレンスPOP  
を展示しました

News!

秋の文献検索講習会  
を開催します!

特

集

電子ブックのサービス  
が始まりました!!

国立国会図書館デジタル化資料  
送信サービスが始まりました!





三重大学人文学部教授  
山田雄司 先生

## 『忍者の歴史』

〈KADOKAWA, 2016.4〉  
[所在] 図・展示棚  
[請求記号] 789.8/Y19



忍者は黒装束に武器を携えたアニメや小説の登場人物。そんな思い込みを覆す研究成果を一冊の本にまとめられた山田先生にお話を伺いました。

### ■忍者に関する学術的な研究

―まずは、先生の現在の研究をご紹介ください。

専門は日本中世史で、その中でも信仰について研究をしています。これまで日本人の靈魂観や怨霊を専門にしてきましたが、2012年から忍者の研究に携わることになり、三重大学、伊賀市、上野商工会議所で伊賀連携フィールドという組織を立ち上げ、忍者に関する学術的研究を行うことになりました。そこでは、忍術書の調査をはじめ、古記録や伝承類から実際の忍者はどのような存在であったのかという研究。それから忍者が江戸時代以降現代に至るまでのように変容してきたのかという研究を進め、日本文化の中に忍者という存在をどのように位置づけることができるのかを考えています。

### ■史料研究を通して実在した忍者の学術的研究

―忍者は南北朝から江戸時代まで活躍した

―著書『忍者の歴史』の紹介をお願いします。

この本は、実際の忍者がどのような活動をしたのか研究した書です。これまで忍者の研究は色々ありますが、根拠が

### ■忍者を切り口として、日本の文化を掘り下げる

―忍者というものは、映像や小説などの想像の存在かと思っていました。南北朝時代から江戸時代にかけて、実際に活躍していたと知り驚きました。

虚像としての忍者は江戸時代の中頃から作られてきて、黒装束を着たり、手裏剣を打ったり、さらにはガマに変身したりし、明治以降になると、小説や映画、アニメなどさまざまな分野で多様な忍者が作られています。忍者の実像がよくわからないために、想像で色々な忍者像が作り上げられ、そしてその忍者像にはそれぞれの時代が反映されているわけです。そうした忍者が事実と違うからおかしいと否定したいわけではなく、それもそれぞれの時代によって作られてきた忍者なのですから、それを研究することにより、忍者という切り口から日本文化に迫ろうというわけです。

### ■日本文化をもっと知りたい ―世界への広がり

―世界で忍者が、なぜ注目されているとお考えですか？

海外ではどこでも忍者がとても人気があるということを感じます。それはいくつか理由があるのですが、アニメの忍者ハットリくんやNARUTOが流行ったり、それから世界においては、忍術が空手、剣道、柔道などと同じような日本の武術の一つとして捉えられていて、道場に通っている人も数多くいます。さらにはヨーロッパの人にとっては、遠く離れた日本に神秘的な忍者がいるので知りたいという興味関心を持たれている方もいらっしゃるかと思います。

### ■毎日の地道な積み重ねから、大きなことを成し遂げる

―忍者の文化が現代日本にどのように生かされているとお考えですか？

「忍(しのぶ)」という漢字は、下に「心」が、上には刃(やいば)が置かれています。これはいかなる危機的状況にあっても動じない心が大切だということを示していると言われています。そういう、辛抱する、我慢する、耐えるということ



### ■研究のヒントは、日常の色々な所にある

―色々な所に興味関心を持って

―三重大学生へメッセージをお願いします。

が日本の職人さんたちが一生かかって自分の仕事をコツコツ行っていくという価値観と密接に繋がっていると思っています。実際の忍びの人たちは、日々鍛錬を積み、本を読んだり勉強したりすることを毎日欠かさず、忍び込むにあたって、命令されたからすぐにぱつと忍びこんで何か情報を得てくるわけではなく、毎日毎日同じ道を通って何か変化がないのか、日頃から地道に活動している人達だったわけです。その積み重ねで、忍者は最終的には天地を動かすくらい大きなことを成し遂げると『万川集海』にも書かれています。そうしたことが、日本人の心のあり方と繋がって、忍者は日本文化を代表する存在だと考えて研究を進めています。

### 山田雄司先生 プロフィール

三重大学人文学部教授。  
1967年静岡県生まれ。  
京都大学文学部史学科卒。筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科修了。博士(学術)。  
1999年三重大学講師、准教授を経て2011年より現職。専門は日本古代・中世信仰史。主な著書に『崇徳院怨霊の研究』(思文閣出版)、『跋扈する怨霊』(吉川弘文館)、『怨霊・怪異・伊勢神宮』(思文閣出版)、『怨霊とは何か』(中央公論新社)、『忍者の歴史』(KADOKAWA)などがある。

## ここから広げよう!!各学部先生からのオススメ本

## READING LIST



### 教養教育機構 奥田久春 先生



ベネディクト・アンダーソン 著  
加藤剛訳  
『ヤシガラ塼の外へ』  
NTT出版、2009年7月出版  
[所在] 図・開架・図書  
[請求記号] 289.3/A46

教養の一冊ともいえる『想像の共同体』の著者が日本向けに書き下ろした自伝的内容。自らの地域研究を振り返り、学問において大切なことを教えてくれる。既存の分野や制度という港に安住せず、自ら風を探し捕らえようという冒険精神、自己批判の姿勢、そして「何かが違う」という異質性、多様性への気づき。学問を志す若い人もヤシガラ塼に籠らぬよう本書を手にとって視野を広げてほしい。

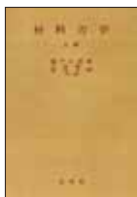
### 生物資源学部 伊藤智広 先生



DALE CARNEGIE 著  
山口博 訳  
『人を動かす』  
創元社、2016年1月出版  
[所在] 図・開架・図書  
[請求記号] 159/C19

今回紹介するこの本は1937年に発売され、現在でも売れ続けているロングセラーの自己啓発書です。皆さん、学生生活の中で多くの人と接していることでしょうか。これまでに人間関係で悩んでしまったことはありませんか?答えが出なかった人がいればその答えも見えてくるような内容です。人と話すのが苦手な人、起業化して多くの仲間と時間を過ごしたい人は是非一度読んでみてください。

### 工学部 成瀬央 先生



鵜戸口英善、川田雄一、  
倉西正嗣 著  
『材料力学』  
裳華房、上巻1957年5月  
下巻1959年3月出版  
[所在] 図・開架・図書  
[請求記号] 上巻501.32/U29/1  
下巻501.32/U29/2

材料力学は、基本構造部材である梁や柱、板などの変形や強さについての力学であり、さまざまな構造の設計に必須である。本書は、私が学部2年生のときの教科書であった。その20年後、この分野にも関連する研究を始めたが、それ以来、研究用の専門書として利用している。本書は約60年前に発行が開始されたにもかかわらず、今なお教科書、専門書として利用したいことに驚かされる。

### 医学部 北川亜希子 先生



稲垣司 著  
『やるっきゃない!俺たち県庁防災対策部』  
マーブルブックス、  
2016年7月出版  
[所在] 図・開架・図書  
[請求記号] 369.3/I52

三重県の防災対策の前リーダーが、広く一般にその実践の軌跡を熱く語っている。行政職が必死で防災対策を力強いものにした過程や東日本大震災の現場での奮いに対する実践の紹介である。防災対策として三重大学も三重県と組んで実践しており、私自身も産学官連携事業として県内の自治体、企業ともに事業に参加しているが、県の防災対策は垣間見る程度であり、得る示唆は大きく感銘深い。

### 教育学部 須永進 先生



津守真 著  
『子どもの世界をどうみるか:行為とその意味』  
日本放送出版協会、  
1987年5月出版  
[所在] 図・開架・図書  
[請求記号] 376.1/Ts73

幼児理解へのアプローチは、人間科学の命題の一つとされている。本書は、子どもに寄り添い、その行為を手がかりに考察を試みようとする質的研究の先駆的取り組みといえる。なかでも、子どもの行為の背景にある基本的な生活体験の減少を指摘し、子どもの豊かな成長・発達への影響に言及している。子育ての難しい時代のなかで、「子どもの世界に参与する」大切に気付かせてくれる書である。

### 人文学部 相澤康隆 先生



三嶋輝夫 著  
『汝自身を知れ:古代ギリシアの知恵と人間理解』  
日本放送出版協会、  
2005年7月出版  
[所在] 図・開架・図書  
[請求記号] 131/Mi53

タイトルの「汝自身を知れ」という言葉は、デルフォイのアポロン神殿の柱に刻まれていた格言として知られている。本書は、古代ギリシアの哲学と文学の代表作を手引きとして、そこに含まれる「知恵」と「人間理解」を紹介するものである。二千年以上の隔たりがあるにもかかわらず、彼らの言葉はいまなおわれわれの心に強く訴えかけるものがある。古代ギリシアに関心がある人には一読をすすめる。



図書館では、2016年より新しく電子ブック(Maruzen eBook Library)を導入しました。三重大で購入している165タイトル(2016年9月現在)が利用可能です。ぜひご利用くださいー!

電子ブックをご存じですか? インターネット上から、図書が利用できます。三重大の学内ネットワーク環境から、英語学習用図書や図書・辞書などがウェブ上でいつでも利用可能です。

英語のリーディング学習に利用しても…  
→Macmillan readers シリーズ

返却期限を気にせず読めるよ!

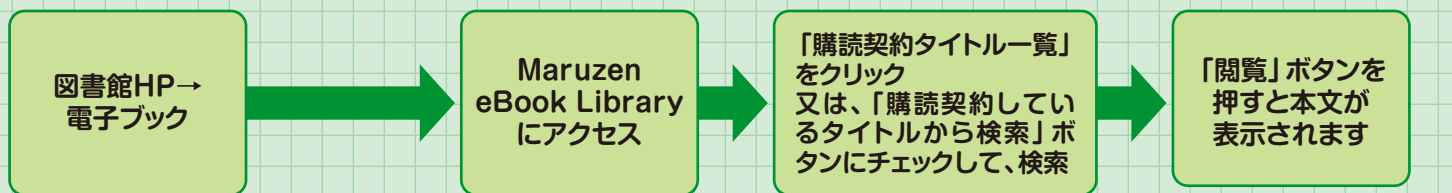
ページの印刷や保存もできます  
(1回の閲覧につき60pまで。授業やゼミで複写利用することも可能です)

学外からも利用できるように、「学認※」に対応予定です

PC・スマホやタブレットから読めます!  
※スマホやタブレットからのご利用には、モバイルLAN接続が必要です

※学術認証フェデレーション(詳細は <http://www.lib.mie-u.jp/e-journal/service/>)

## アクセス方法 URL : <https://elib.maruzen.co.jp>



Maruzen eBook Library

検索結果一覧

Anna Karenina (Macmillan readers 6, upper intermediate level)

著者: Leo Tolstoy, 訳者: Margaret Turner

出版年: 2007

ISBN: 9781405087347

拡大ページめくり印刷・保存

目次から、見たいページに移動できます

Anna Karenina

MACMILLAN READERS UPPER LEVEL

LEO TOLSTOY

Anna Karenina

Retold by Margaret Turner

本文

閲覧終了

※1タイトルの同時アクセス数は1名のため、利用が終了したら、忘れずに「閲覧終了」ボタンをクリックして下さい。

## 今秋トライアル第2弾実施予定

ご利用いただいたタイトルから、利用実績等に基づいて追加購入します。ぜひ、ご利用下さい。又、購入リクエストも受付しています。お問い合わせ先: 附属図書館図書担当 lib-tosho@ab.mie-u.ac.jp 内線9085

トライアル中は、約2万タイトルが利用可能です

## 三重大学附属図書館における 国立国会図書館デジタル化 資料送信サービス開始のお知らせ

附属図書館では国立国会図書館の承認を受け、8月から「デジタル化資料送信サービス」を開始しました。国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、図書館内の専用端末での閲覧と、図書館への申し込みによる複写が可能となるサービスです。図書、雑誌、博士論文等、約142万点の資料が利用できます(平成28年7月時点)。

### 利用対象者

学内者  
(三重大に在籍する学生、教職員、名誉教授)

### 利用可能時間

平日開館日の9:00~17:00  
※複写物のお渡しは翌日以降になることもあります

### 利用場所

・附属図書館1階複写コーナー近くにある専用端末

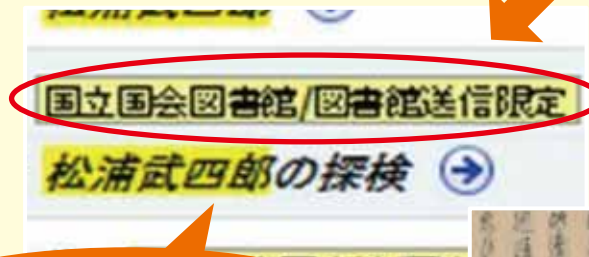
### 利用手順

- ①参考調査カウンターで図書館利用券(学生証、身分証明書)を提示
- ②図書館職員がログインの操作
- ③複写は「文献複写申込書」に記入し、参考調査カウンターに請求
  - モノクロ 20円/枚
  - カラー 60円/枚
 画面撮影、データの電子化はできません



ここにチェックを入れてください

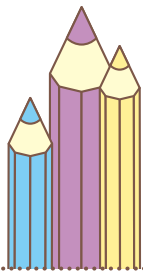
キーワード「松浦武四郎」で検索した結果画面



(画像例)

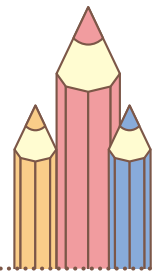
「国立国会図書館/図書館送信限定」の資料を閲覧・複写できるサービスです

※画像は「国立国会図書館デジタルコレクション」から転載



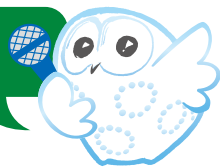
From Students

# 三重大学図書館



## 時間外開館担当の職員さんに聞きました!

平日の夕方や土日に、図書館で働いてくれている学生さん(時間外開館担当職員)お二人に、お薦めの図書館サービスや場所・資料を教えてくださいました!



大学院生物資源学研究科  
赤廣匠 さん

私のお勧めは、OPACやMyポータルを活用することです。業務をしていると、わざわざ図書館に来て利用する方や、そもそも存在すら忘れていらっしゃる方を多く見ます。WEBサービスを利用すれば、いつでもどこでも論文の蔵書検索や複写依頼、貸し出しの延長や予約などが行えます。

WEBサービスの魅力は、図書館を利用できない時や研究の合間に活用できることです。私も論文の作成のためにOPACで論文を検索し、MyポータルからのILL依頼を活用しています。大学の勉強や研究を行う上でとても便利なサービスなので、もっと多くの方に利用して欲しいです。



工学部  
中野成彦 さん

〈お勧めする図書館の場所〉

僕は図書館の2階にあるアメニティコーナーをお薦めします。アメニティコーナーは、飲食可能で、話すこともできますし、部屋が大きくないせいか夏はエアコンの効きがよくなり涼しいです。何度も利用していますが、飲食も会話も許されているにも関わらず利用者のマナーがよく、静かな環境で勉強できました。

〈お勧めする資料〉

図書館ゲート内1階にある教養ワークショップコーナーです。貸出はできませんが、多様な分野の新書が置かれており知的好奇心がくすぐられます。教養もつきますし、利用してみても良いでしょう。

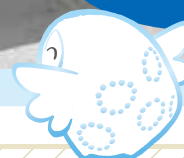
## 写真部「6月部展」開催

### 開催報告が、写真部の皆さまから届きました!!

2016年6月24日～7月1日、附属図書館1階の玄関ホールにおいて三重大学写真部が「6月部展」を開催しました。今年度入部した部員にはフィルムカメラを貸し出し、白黒写真に挑戦してもらいました。入部して2カ月という短い準備期間でしたが、それぞれ自分らしさを表現してくれました。2年目以上の部員は「涼」をテーマとした作品を展示し、自然や水辺といった夏らしさのあるものなど様々な「涼」を表現しました。今回、図書館での開催により色々な方に写真を見ていただくことができ嬉しかったです。



白黒写真が  
大変素敵です。  
「涼」を表現されていて、  
見ているだけで涼しい  
気分になりますね





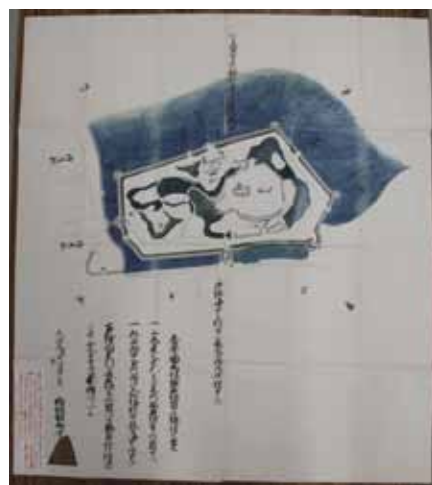
# ブックロウの Pick Up コーナー

図書館のホームページ  
<http://www.lib.mie-u.ac.jp/>  
から Check it out !!



## 所蔵資料展示「伊勢志摩」展開催報告

2016年5月19日～8月9日に所蔵資料展示「伊勢志摩」展を附属図書館玄関ホールと附属図書館一階で開催しました。本展示は、2016年5月26日、27日に三重県志摩市賢島で開催されたG7伊勢志摩サミットの三重県民会議応援事業のひとつでした。旧志摩国つまり主に現在の鳥羽市・志摩市を中心とした資料16点を公開し、また館内に関連図書陳列棚を設けました。江戸時代の海女漁やのし作りを記した「日本山海名産図会」、三重県師範学校の生徒の調べ学習の成果である「三重県郷土誌」、三重県地理用の小学校教科書群、津の商人であり地理学者でもあった稲垣定毅が残した詳細な伊勢国図の「八国接壤図」、江戸後期の鳥羽城の様子を伝える「志摩国鳥羽城絵図」、鳥羽初の詳細な郷土誌である「志陽略志」など、鳥羽の船頭らが台湾まで漂流し清国を経て帰国した経緯を記した「志州鳥羽船台湾国江吹流サレ物語」など、本館所蔵の貴重な資料が公開されました。展示および関連図書を通じて、伊勢志摩の伝統と歴史や国土の豊かさが伝わったことと思います。展示には附属図書館研究開発室兼務室員吉丸雄哉先生(人文学部准教授)、人文社会科学研究科大学院生稲本紀佳さんにご協力いただきました。



## オープンライブラリー開催報告

8月8～10日に、大学のオープンキャンパスに合わせて「オープンライブラリー」を開催しました。

玄関ホールで附属図書館を紹介したスライドショーをご覧いただいたり、自由に図書館内の様子を見学していただきました。

身近な図書館と比べて、フロアが広いことに驚かれた方や、ラーニングコモンズ等勉強するスペースや施設が整っていることや、パソコンの多さに驚かれた方などがいらっしゃいました。

約1000名の皆さんにご来館いただきました。



## レファレンスPOPを展示しました

7月5日～8月2日に、附属図書館2階の参考図書コーナーで、レファレンスPOPを展示しました。「情報サービス論」(人文学部の司書課程科目/長澤多代先生担当)を受講する29名の学生が課題として作成したものです。レファレンスPOPは、辞書や事典などの参考図書(レファレンスブック)の特徴をわかりやすく利用者に伝える小型のカードのことです。受講生たちは、参考図書を選択し、イラストやメッセージを加えたレファレンスPOPを作成し、展示の仕方を考えました。

皆様には、これを機に、参考図書に親しみを持っていただければと思います。



	11/11 金 FRI	11/14 月 MON	11/15 火 TUE	11/16 水 WED	11/17 木 THU
10:30~ 12:00	Web of Science and EndNote	国内+海外 (理系)	国内+海外 (文系)	国内	SciFinder
13:00~ 14:30	Web of Science and EndNote ※	国内	国内	国内+海外 (理系)	SciFinder

国内	← CiNii Articlesを使って国内文献の 入手方法を学びます
国内+海外 (理系)	← CiNii Articlesを使った国内文献の入 手方法に加え、Web of Scienceを使 って海外文献の入手方法を学びます
国内+海外 (文系)	← 国内文献に加え、機関リポジトリ等 で公開されている海外文献の入手 方法を学びます

Web of Science and EndNote	← 外部講師を招いて、海外文献検索 データベースWeb of Science、 文献管理ツールEndNoteを 詳しく学びます
SciFinder	← 外部講師を招いて、化学系 の論文検索データベース SciFinderを学びます

実施期間・内容は左の日程表で確認して  
ください。

時 間：午前 10:30~12:00  
午後 13:00~14:30

場 所：附属図書館2階パソコンコーナー  
※11/11 13:00~14:30は総合情報処理センター

予約優先：参考調査カウンター、E-mail、  
電話にて参加の予約をしてください。

連絡先：附属図書館利用者サービス担当  
(情報リテラシー)

【メール】  
literacy@ab.mie-u.ac.jp  
【電話】  
059-231-9089



## 授業「教養ワークショップ」推薦新書コーナー開催中です

授業「教養ワークショップ」(教養教育1年次後期必修)の推薦図書が、昨年に引き続き、館内専用コーナーでご覧いただけます。新書を読んで書評を書いたりする図書を選ぶときに、ぜひご利用ください!約100冊を並べています。教養ワークショップ推薦新書コーナーの図書は、館内でご利用ください。

## 教員執筆寄贈図書リスト (2016年1月~6月発行分)

- 森正人 人文学部准教授/『戦争と広告：第二次大戦、日本の戦争広告を読み解く』 森正人著、KADOKAWA、2016.2、図・展示棚 [674.9/Mo45]
- 朴恵淑 人文学部教授/『四日市学講義』 朴恵淑編著、風媒社、2007.7、図・展示棚 [519.52156/Y74]
- 朴恵淑 人文学部教授/『四日市公害の過去・現在・未来を問う「四日市学」の挑戦』 朴恵淑編著、風媒社、2012.7、図・展示棚 [519.52156/B63]
- 朴恵淑 人文学部教授/『亀山学』 朴恵淑編著、風媒社、2016.3、図・展示棚 [215.6/Ka36]
- 藤田昌志 国際交流センター准教授/『日本文化概論Ⅲ・歴史編3:近現代2(昭和・平成~)』  
藤田昌志著、[藤田昌志]、2016.1、図・展示棚 [302.1/F67/3]
- 藤田昌志 国際交流センター准教授/『日本語と中国語のモダリティ』 日中対照言語学会編、白帝社、2015.10、図・展示棚 [825/N77]
- 尾西康充 副学長/『小林多喜二:生地からの発信』 秋田県多喜二祭実行委員会編、秋田県多喜二祭実行委員会、2016.2、図・展示棚 [910.28/Ko12/3]
- 別府直苗 教育学部非常勤講師/『地域のグローバル化に即した学生の養成―「チャンス事業」の概要と成果―(2)』  
三重大学教育学部日本語教育コース編、三重大学教育学部日本語教育コース、2009.3、図・展示棚 [377.15/C43/2]
- 郷右近歩 教育学部准教授/『知的障害者の就労支援 コーディネートの実際』  
森沙也佳著、郷右近歩監修、ナカニシヤ出版、2016.1、図・展示棚 [366.2/Mo45]
- 長澤多代 附属図書館研究開発室准教授/『アクティブラーニングとしてのPBLと探究的な学習』  
溝上慎一、成田秀夫編、長澤多代ほか著、東信堂、2016.3、図・展示棚 [375.1/A39/2]
- 前田定孝 人文学部准教授/『Q&A辺野古から問う日本の地方自治』 本多満大編、前田定孝ほか著、自治体研究社、2016.5、図・展示棚 [318.299/Q1]
- 山田雄司 人文学部教授/『忍者の歴史』 山田雄司著、KADOKAWA、2016.4、図・展示棚 [789.8/Y19]
- 小田敦子 教養教育機構教授/『エマソン詩選』 ラルフ・ウォルド・エマソン著、小田敦子ほか訳、未来社、2016.5、図・展示棚 [931/E52]
- 金子聡 工学部教授/『初心者のためのケモメトリックス分析化学と多変量解析法』 三井利幸著、一粒書房、2016.3、図・展示棚 [433/Mi64]
- 吉野由起 人文学部准教授/『ポケットマスターピース08 スティーヴンソン』  
スティーヴンソン[著]、吉野由起分訳、集英社、2016.5、図・展示棚 [933/St5]
- 万田敦昌 生物資源学部准教授/『天気と海の関係についてわかっていることと知らないこと』  
筆保弘徳編、万田敦昌ほか著、ベレ出版、2016.5、図・開架・図書 [451.24/Te36]
- 山中章 名誉教授/『変容する聖地:伊勢』 ジョン・グリーン編、山中章ほか著、思文閣出版、2016.5、図・開架・図書 [215.6/H52]
- 長澤多代 附属図書館研究開発室准教授/『大学のFD Q&A』  
佐藤 浩章ほか編、長澤多代ほか著、玉川大学出版部、2016.6、図・展示棚 [377.15/D16]
- 山田孝 生物資源学部教授/『土砂災害と防災教育』 檜垣大助ほか編集、山田孝ほか著、朝倉書店、2016.2、図・展示棚 [369.3/D88]
- 福岡昌子 国際交流センター教授/『第二言語としての日本語習得研究の展望』  
森山新、向山陽子編、福岡昌子ほか著、ココ出版、2016.5、図・展示棚 [810.7/D25]

【見かた】 ● 寄贈者 所属/『書名』著者名、出版社(者)、出版年月[請求記号]

## ※※編集後記※※



● 表紙の写真：図書館1階のロビーで、伊勢志摩展を開催した際の様子です。伊勢志摩展が開催されている様子は、図書館ロビーを通った時に、ご覧頂いた方もいるかと思いますが、人文学部の吉丸先生のご指導の下に開催されました。今号のPick Upコーナーでも伊勢志摩展について掲載していますので、是非ご覧ください。

特集でもお知らせしていますが、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスで、貴重な資料を図書館から利用できるようになりました。

また、新しく利用いただける電子ブックは、開館時間を気にせず利用できるなど、大変便利です。是非一度ご利用下さい。使い方が分からないときは、カウンタースタッフに聞いてください。